

# 多摩川河川敷清掃活動

10月29日(土)毎年恒例の行事として20年続いている多摩川河川敷清掃活動が今年も行われました。当日は、雨の天気予報が出ており催行に不安もありましたが、雪谷税務署上竹署長をはじめとする署員の方々、田園調布警察署近藤署長をはじめとする交通少年団の皆さん、田園調布消防署消防少年団、法人会の会員と、その社員や家族の方々などの総勢170名という多数のご参加を頂き開催することができました。



また、今回の清掃活動では、子供たちに向けての租税教育の場として、青年部会による「租税教室ウォークラリー」も同時に開催されました。これは、子供たちが清掃活動をしなが、その移動ルート上に置いてある税に関するいくつかのクイズを解きながら歩き進むというものでした。周りの大人たちの助けがないと答えられないの

ではと思われるクイズもありましたが、あえてする青年部会らしい内容だったのではないのでしょうか。子供たちには税の仕組みや大切さを学ぶことができたことと思います。

これからもこの活動を通じて、地域に愛される多摩川の景観維持に努めて参ります。皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。



参加者全員が午前9時30分に集合し、多摩川河川敷を2時間程かけ清掃活動を行いました。他の皆様と同様に私も毎年参加していますが、参加するごとに多摩川河川敷が少しずつきれいになっていることを肌で感じることができます。地域に生活するみんなの手によって、多摩川を美しく保つことは地域の誇りそして心のゆとりにつながります。そして、何よりもこの行事に参加する子供たちにとっても「ゴミのポイ捨てをしてはいけない」「地域をきれいに保たなければならない」ということを学ぶ最高の場となっていることと思います。法人会金山会長も「ゴミを捨てる子供は、ゴミを捨てません。」と言っていました。



◀租税教室ウォークラリー

